



## みんなで作ろう



## さやま環境市民発電所

5月8日のNPOさや環総会で、市民共同発電所の建設計画が承認され、その実現に向け一歩を踏み出すことができました。市民の力で、市民に見える所で、CO<sub>2</sub>を出さないクリーンなエネルギーを創る試みです。

地球温暖化は確実に進行しています。地球全体の気温上昇を2℃以内におさえることが世界共通の目標です。この目標達成のためには全世界で2050年までに排出量を50%削減しなければなりません。日本は中期目標として2020年までに温室効果ガス排出25%削減(1990年比)を宣言しました。しかしながら行政は、削減のための具体的施策を打ち出せていません。市民の出番です。

私たちは、従来「エコライフDAY」「緑のカーテン」等、温暖化防止の普及啓発活動をしてきました。これらの活動をさらに発展させ、具体的な削減活動を市民に見える形で推進することで、市民の意識を変えたいとの願いで、この計画を進めていきます。

市民共同発電所の名称は「さやま環境市民発

電所」とし、市内の自治会館の屋根を借りて太陽光発電設備を設置します。自治会館は地域の拠点です。ここを温暖化防止活動の発信拠点としていきます。市民からの寄付と各種補助金とで設置費用を賄います。自治会に初期費用は求めませんが、発電設備設置による電気料金の節約分はNPOさや環が受け取り、NPOさや環は自治会に屋根の使用料を支払います。

この計画を成功させるためには、市民からの寄付金をいかに集めるかが最大のポイントとなります。寄付金は一口1,000円とし、100万円を目標に募集しています。またこの計画で余剰金が発生した場合は、第二発電所の建設につなげていきます。同封のチラシをご覧の上、会員の皆様の絶大なご協力(寄付)をお願いいたします。寄付に同意いただける方は下記児玉まで、あるいは各分科会またはNPOさや環役員まで、ご連絡下さい。

児玉 靖 TEL. 2957-5159  
携帯 090-4757-9001

### 環境くん

石川しげひさ



係留



## 緑の分科会

### 分科会リーダーのバトンタッチ

#### ★前リーダー あいさつ

緑の分科会がスタートしてから満6年、緑の分科会リーダーとして小川泰男が携わってきました。その間、会員各位のご協力で、緑に関するイベントや講演会など、色々と進めてくることが出来ました。緑のトラスト保全地を堀兼・上赤坂の森に誘致する運動では、多くの皆さんの熱意で市や県を動かし、最終的に緑のトラスト9号地が実現できた事は、感慨深いものがあります。

4月から新リーダーにバトンタッチしますが、私はこれからも、本誌「さやか」の編集および緑のトラスト9号地の代表として、NPOさや環の理事を務めながら、緑の分科会の一メンバーとして携わってまいります。

今後も引き続き、緑の分科会をバックアップ下さるようお願いいたします。 (小川泰男)

#### ★新リーダー あいさつ

この度、『第3回NPOさや環総会』において、緑の分科会リーダーになりました中島 功と申します。よろしくお願い致します。

私は、現在、近隣の『水野の森里山の会』と、『緑のトラスト9号地』に参加させて頂いています。『トラスト9号地』は、保全と管理で、当初倒木・枯れ木・下草の密集等、相当荒れていましたが、約1年経った今、6haの森はかなり整備されてきました。ただ、この雑木林は平地林で、水など“何もない森”なのです。私だけかもしれませんが、「もう一度行ってみたい森」と感じないのです。「緑の分科会」は、子供からお年寄りまで、何か楽しめる「もう一度行ってみたい森」を造る努力をしたいと決意しております。 (中島 功)



新リーダー  
中島 功氏

## 川分科会

### 入間川での生物多様性を念頭においた活動

私達は、身近な自然の中で、多様な生き物が生きやすい環境にあるかどうか、また、くずれかけている生態系のバランスをどう回復できるのか等の、多くのむずかしいテーマをかかえながら活動しています。

子ども達の環境意識を高めるための環境学習支援は、8年目になりますが、川辺のあらゆる自然の体験をめざしています。未来を担う子ども達には、自然の中での大きな感動と楽しさが必要だと思えます。

川の魚類の多くは回遊魚ですが、入間川では堰、特に上奥富堰で、ほとんど上ってこれません。魚道の整備が早急に必要です。そのための調査として、アユの標識放流(今年は4月に田島屋堰上流に於いて3000匹)をNPO荒川流域ネットワークと共に実施するとともに、県、国に「魚道

設置と落差の解消」を要請しています。

毎年行っている全国一斉水質調査を、6月6日に行いました。狭山市区域の入間川では、6カ所取水して調査を行いました。4年前では関東で2番目にきれいでしたが、今年はどうでしょうか?

川分科会は、水辺再生100プラン2010年度事業に応募して、[入間川新富士見橋付近の親水スペース計画]が採用されました。2年間で完成する予定ですが、現状の中州は野鳥の宝庫であり、支流の川辺は手つかずの自然がまだまだあります。

なお、今年の10月には、名古屋で生物多様性条約締結国際会議COP10も開催されますが、地域の皆さんの意識の高まりを期待し、共に生物多様性を目指す親水スペース作りを始めたいと思います。 (鈴木英有)

## 鳩山前総理大臣名で

### 「森林保全の提言書を受け取った」旨のはがきを頂きました。

今年の3月、総理大臣はじめ関係各大臣に、五十嵐衆議院議員経由で、武蔵野の雑木林の保全のための相続税の見直しについてお願いしたところ、鳩山前総理大臣名で提言書を受け取った旨のはがきを頂きました。

提言書の主な概要は「雑木林には高額な相続税がかかるため、農家が手放さざるを得ない現在の税システムに問題がある。これを、相続が発生しても保全していきたい農家には、むしろ優遇するような税システムに改める」また、「CO<sub>2</sub>の吸収源となる森林の保全は、温室効果ガス削減に有効なばかりか、人類の生命の維持に不可欠、積極保全を!」と、いうものです。 (小川泰男)



## 狭山市のごみの減らし方 その5

平成22年1月号の「さやか」で、平成19年度の燃やすごみの分類(水を含む)割合を計算した結果を表4として示しました。この時は割合のみでしたから、今回は重量を含め表5に示します。

水分込の燃やすごみの6成分

表5

	名称	重量 t	割合 w%
1	紙・布類	8,702	24
2	プラ・ゴム類	6,019	16.6
3	木・竹・わら類	8,158	22.5
4	厨芥類	11,929	32.9
5	不燃物	580	1.6
6	その他	906	2.5
	合計	36,294	100

3=「木・竹・わら類」と言うのは、剪定枝と、草と落ち葉のことです。

平成19年度ごみの排出量(再掲)

表1

	名称	排出量 t	割合 w%
1	燃やすごみ	36,259	71.1
2	燃やさないごみ	2,758	5.4
3	粗大ごみ	2,745	5.4
4	資源ごみ	6,300	12.3
5	剪定枝等	721	1.4
6	生ごみ	430	0.8
7	廃プラ	1,761	3.5
	合計	50,974	100

表1の1~3は処分ごみ、4~7までは資源として回収しているものです。その内4は、古紙、古布、びん、缶、乾電池、ペットボトル、食品トレイの総称です。

そこで、表1の4,5,6,7と表5の1,2,3,4を比較してみてください。現在資源として回収されている物より、はるかに多くの量が燃やすごみの中に入っています。もっとしっかり分別して資源として回収するよう、努力しましょう。

(土淵 昭)

## NPOさや環 第3回通常総会を開催



5月8日(土)、中央公民館3階ホールで、正会員68名中47名(委任状を含む)の参加の下、第3回通常総会が開催されました。石田代表理事の開会挨拶、ご来賓の仲川狭山市長の祝辞の後、議案審議に入りました。

平成21年度の事業報告及び収支報告・監査報告、そして平成22年度の事業計画案、収支予算案及び役員体制案の提案があり、いずれも全会一致で可決承認されました。

その後第2部として、平成22年度の主要事業となる①「市民共同発電所(太陽光発電)建設計画」と、②「リサイクルプラザでの市民啓発活動」についての報告が行われました。

休憩をはさみ最後は茶ノミケーションで大いに話が盛り上がりしました。また会場では「市民共同発電所」建設への寄付の呼びかけも行われ、多くの寄付金が寄せられました。

(伊藤勝彦)

### 麦秋と濃緑の雑木林

昨年11月に小麦を播いた畑は、クヌギの大木がある雑木林に続く南さがりのところにあります。小麦畑はまだ緑一色の4月下旬のころ、雑木林は芽吹き時期でした。白ぼっく見えるのはコナラであり、クヌギは赤褐色の花が咲いています。エゴヤサクラの淡い黄緑の葉もあり、小麦の緑とは対照的に、異なる芽吹きの色がモザイク模様にはらばり、優しい色合いを醸し出していました。それが、ひと月の間に、雑木林は濃緑色一つの固まりに変わり、小麦畑は逆に黄色く色づきながら麦秋を迎えます。春から初夏へ、瞬く間に季節が移り変わっていました。(小川洋之)





6月10日、東三ツ木自治会館に“自然を守る狭山リサイクルの会”代表の吉村容子さんを訪ね、会の環境活動についてお伺いした。

当会は、上赤坂の森クリーン活動、地域のごみ減量、資源回収、川の水質検査など多くの環境問題に取り組んでいる。

会の前身は、東三ツ木の地域の婦人会が環境問題に取り組んでいたもので、その後男性も加わり、1987年4月に当会が設立された。



堀兼・上赤坂の森のクリーン活動

新狭山駅周

辺をきれいにしたい。特に、上赤坂の森に捨てられた空き缶、ゴミの山の実態を見かね、自分達で何とかしようということになった。

このすばらしい自然を、未来を担う子供達のため残したいとの思いで、上赤坂の森の状況を調べ、県に保全の要望や指導、協力をお願いをした。そんな経緯をたどりながら、上赤坂の森のクリーン活動を始めることになり、1989年から以降21年間、毎年続けている。初年度は、地

域自治会や団体・個人合計37名の参加から始まり、その後も、この活動に関心を持つ団体、市民あわせ、多い時には約700名の参加があった。最近では森のゴミも少なくなり、かなりきれいになってきたが、まだまだ継続が必要とのこと。2009年以降は、自治会などとの連携がなくなったが、以降も独自での活動を続けている。



代表 吉村容子さん

23年間続けている資源回収活動について、例えば、古紙のリサイクルの場合、2009年度は53,680kgを回収した（これは1,058本の木を守った計算）。活動を始めてから今までに2,420tを回収、48,400本の木を守った事になる。まさに“継続は力なり”。

活動を通して得た収益金の一部は、毎年、福祉関係の施設や、市の緑の基金などに寄付をされている。

これらの地道な活動を長く続けている“自然を守る狭山リサイクルの会”に対し、あらためて敬意を表したい。（小川泰男）

## イベント情報

### 緑のトラスト9号地 ボランティア活動のご案内

- 毎月第2日曜日と第4金曜日には、森の手入れ。  
毎月第3土曜日には、動植物のモニタリング調査を行なっています。
- 活動時間：午前9:30～午前中
- 活動に当たっては、ボランティア登録が必要。（ボランティア保険対応）
- 登録ご希望者の連絡先：代表 小川泰男 TEL.04-2956-7071
- NPOさや環会員は、会費不要。一般の方はトラスト協会に¥1,500/年

### 米っ子クラブ 稲刈りと脱穀体験会—(9月中旬) 収穫祭と餅つき等—(1月下旬)

- 日時：天候により変動。  
詳細はインターネット「新狭山ロータリークラブ」でご確認下さい。
- 場所：狭山市民会館の裏側の田圃へ集合。
- 参加希望者は、開催日の10日前までにご連絡下さい。
- 連絡先：新狭山ロータリークラブ 斉藤修司（携帯090-4714-9154）  
社会奉仕委員長 西沢長次（携帯090-3133-7875）

●主食の米はどのように作られているか、体験学習の良い機会です。

市内在住・在学・在勤の個人、市内で活動されている  
民間団体や事業者であれば入会する事が出来ます。

問合せ先：NPO法人さやま環境市民ネットワーク事務局

事務局長 伊藤勝彦 Tel./Fax.04-2956-6357 携帯090-4535-2394

●Eメール=o\_surd@planner.so-net.ne.jp

●ホームページ=http://sayama-kankyo.org

## 会員募集

皆さまのご入会を  
お待ちしております。